

高性能エコ瓦

2011
愛知環境賞
優秀賞受賞

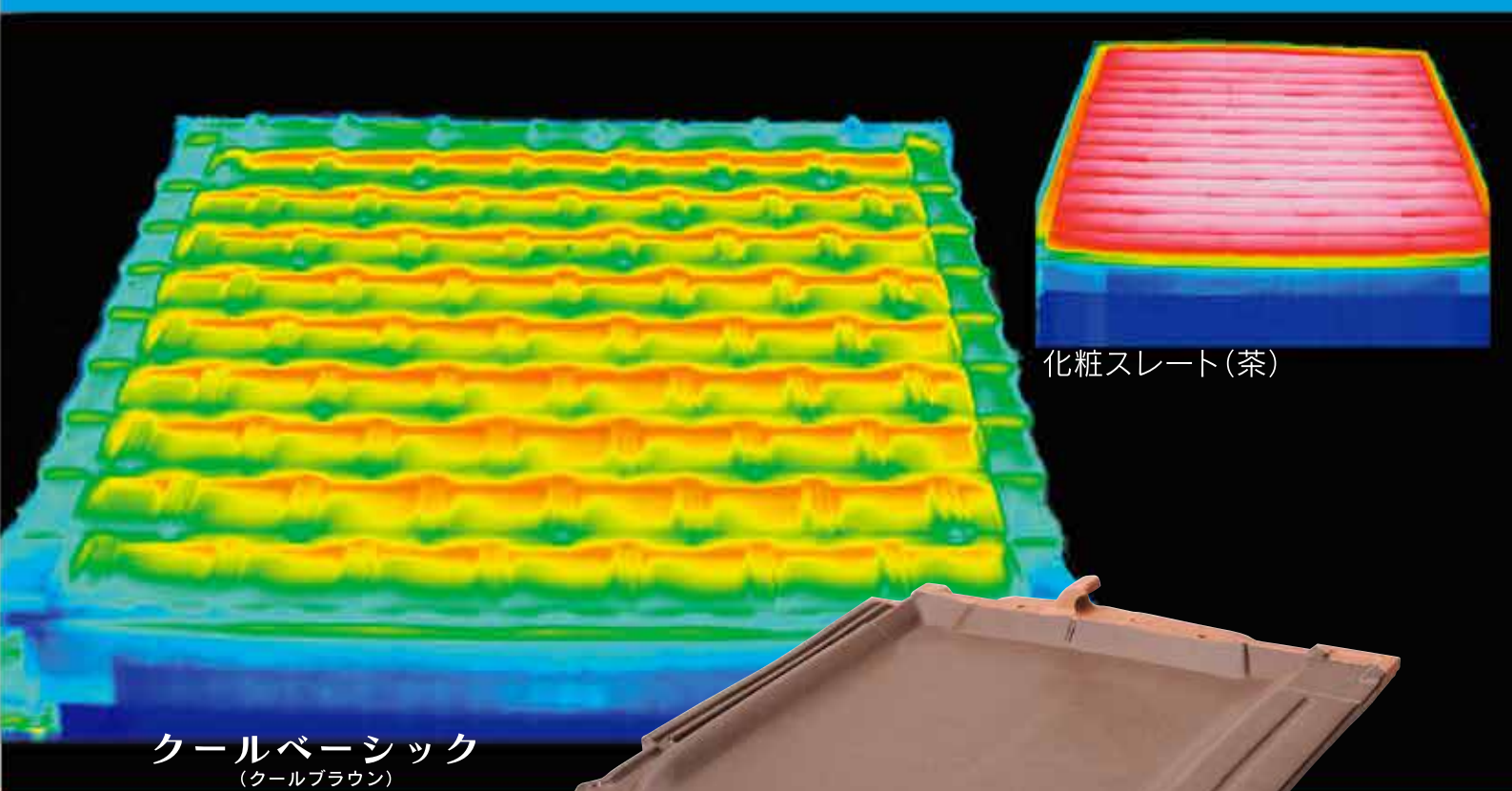
スーパースライ110

Cool Basic



クールベーシック®

特許取得済み



クールベーシック
(クールブラウン)

化粧スレート(茶)

屋根の温度を下げる瓦。

高機能エコ瓦

スーパースライ110

Cool Basic

クールベーシック®

屋根材として好まれる色は、黒系色を代表とする落ち着いた色。

その一方で最も太陽からの光を吸収してしまう色です。

“クールベーシック”は太陽光に含まれる赤外線を選択的に反射する色です。

小屋裏温度の上昇を防ぎ、快適で健康な住空間を創造します。

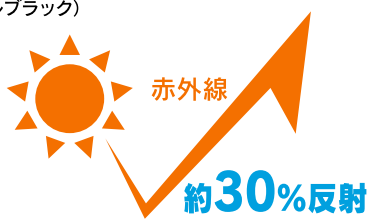
選択的反射性能

特許取得済み

特許4358290号(黒)
特許4358291号(茶)

太陽からの赤外線を選択的に反射し、熱の発生を防ぎます

●クールベーシック(クールブラック)

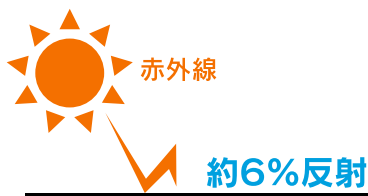


“クールベーシック”は、人の目に見える可視光線を吸収し、人の目には見えない赤外線を選択的に反射することのできる意匠性と太陽光エネルギー反射性を合わせ持つインテリジェント ルーフです。

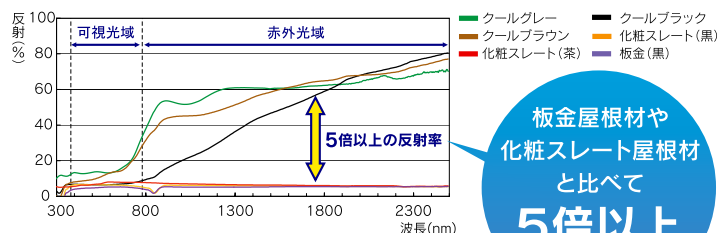
クールベーシックの赤外線域における太陽光エネルギー反射性能は、板金屋根材や化粧スレート屋根材と比べて5倍以上の性能を発揮します。

この反射性能により、夏場の冷房負荷電力の削減やヒートアイランド現象、地球温暖化の抑制に効果を発揮します。

●スレート系屋根材(黒色)



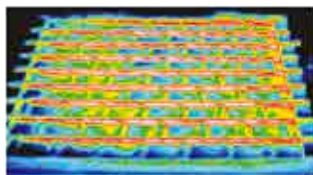
●分光反射率比較



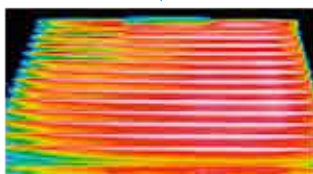
板金屋根材や
化粧スレート屋根材
と比べて
5倍以上
の反射性能

◆模擬屋根での比較

●クールベーシック(クールブラック)



●板金屋根材(黒色)



違いがはっきり!

クールブラックと板金屋根材(黒色)の模擬屋根を普通のカメラとサーモグラフィーカメラで撮影しました。

どちらも可視光線を吸収するので見た目には同じ黒色ですが、サーモグラフィー画像では表面温度の違いがはっきりと分かります。

この違いの理由は、クールベーシックが板金屋根材と比較して約5倍もの赤外線反射性能を発揮するからです。

2009.2.11撮影

クールベーシックは、セラミックス(焼きもの)屋根材です。

基材の粘土に釉薬を施し、1,130℃の高温で焼成するため、表面の釉薬層はガラス状となり、非常に高い耐久性を有します。表面の釉薬層は紫外線や熱に強く、長期間変わることなく赤外線反射性能を発揮します。

た色調ですが、

に反射させることによって、

です。



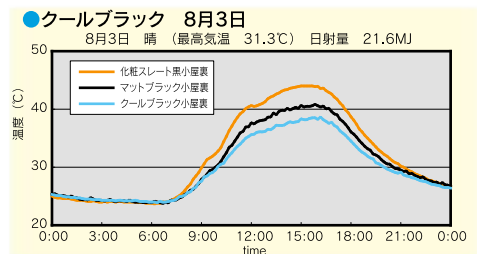
環境性能

屋根を通過する熱を低減させ、室内温度の上昇を防ぎます

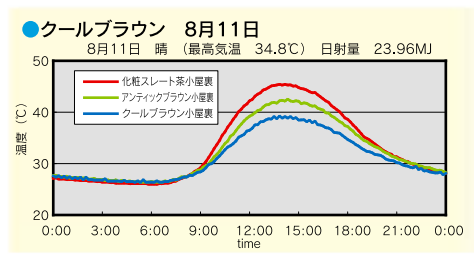
試験棟を用いた夏季遮熱性能試験にて、遮熱性能を評価しました。

屋根を通過する熱を低減させることにより、室内温度の上昇を防ぐ為、エアコンの消費電力が削減でき、環境にも家計にも優しい瓦です。

小屋裏温度の比較

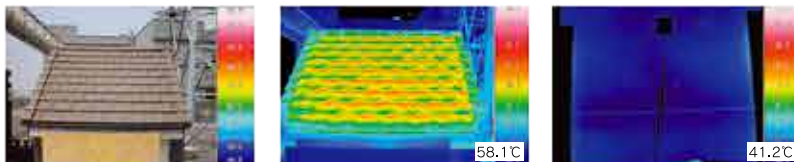


<天井断熱仕様> 断熱材：押出法ポリスチレンフォーム保温板3種(厚さ55mm)
熱伝導率：0.028W/m・K
適用地域：地域Ⅲ～地域Ⅴ

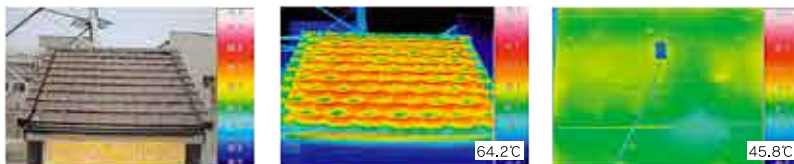


<壁断熱仕様> 断熱材：押出法ポリスチレンフォーム保温板3種(厚さ55mm)
熱伝導率：0.028W/m・K
適用地域：地域Ⅱ～地域Ⅴ
※各地域の気密住宅以外での適用地域

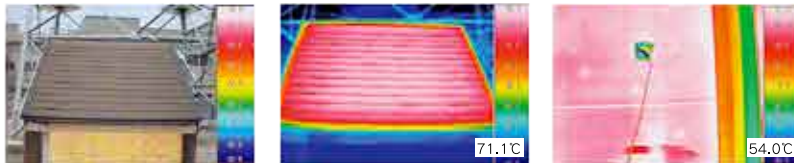
●クールブラウン



●アンティックブラウン



●化粧スレート(茶)



試験棟

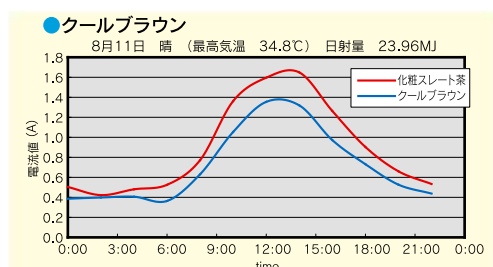
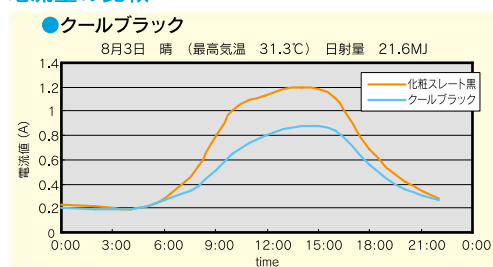
屋根表面温度

小屋裏温度

2009.8.19 13:30
外気温 31.8℃

試験結果の消費電力差を一般住宅の夏場1ヶ月間の電気代に換算した結果、クールブラックで約1,200円、クールブラウンで約1,100円*が節約できる結果となりました。

電流量の比較



※1日の消費電力データにより1ヶ月の電気代を換算しています。試験日の条件(日射量や風速等)により試験結果にバラツキがあるため、電気代の削減金額にもバラツキが発生することをご了承下さい。また、実際の使用環境においては、物件の断熱仕様や立地条件などにより試験結果と異なります。

● スマート

直線的なフルフラットデザイン

クールブラック



クールブラウン



クールグレー



● タイプI

スタンダードタイプの防災瓦

クールブラック



クールブラウン



※マットブラック色・アンティークブラウン色・ナチュラルブラウン色・銀鱗色・美銀色とは色調が異なります。

使用色: タイプI クールブラック

ホームページより、施工事例をご覧ください。 www.try110.com/case/

■製品に関するご注意

粘土瓦は天然原料を使った自然素材であるため、下記の要因が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく粘土瓦製品としての一般的性質であり、屋根材としての品質上の問題はありませんので安心してご使用ください。

●色ムラ

粘土成分の違いや、焼成窯内雰囲気の変化により微妙な色ムラが発生している場合があります。

●ネジレ・寸法

焼き物特有の若干のネジレ、寸法のバラツキにより施工後に瓦と瓦の間に若干の隙間、段差が発生する事があります。

●貫入(かんにゅう・表面亀裂)

瓦には貫入(かんにゅう)と呼ばれる、釉薬表面に細かい亀裂が発生している場合があります。窯から出してすぐに発生する貫入状態を直接貫入といいます。釉薬と素地(粘土)の収縮が同じ程度に調合した色の瓦は直接貫入の発生は少なく、施工後徐々に貫入が発生します。これを経年貫入といいます。

●ピンホール

瓦には釉薬表面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物(イワ木、小石等)などで燃焼時に発生するものです。(特に粘土に含まれる小石は、瓦の強度を保つために必要不可欠な素材ですが、焼成時には陥没しピンホールになる原因となります。)

●虹彩現象(こうさい)

瓦表面に雨水などが汚れとして付着し、これが平滑な薄膜状となった時、光の干渉で虹色に見える現象です。このような現象は瓦全般に発生しますが濃い色の釉薬で特に目立ちやすいという特徴があります。

■安全に関するご注意

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- 施工後、専門工事業者以外の方が屋根面に登ることは、落下等非常に危険です。また、雨漏り等の原因になることもありますので絶対に登らないでください。
- 陶器瓦表面はガラス質であり、滑りやすいため、特に朝露・雨など表面が濡れている場合は危険です。絶対に屋根面に登らないでください。

■三州瓦製造・販売



株式会社 鶴弥

本社 〒475-8528 愛知県半田市市の崎町2番地12

0120-817-268

ホームページ www.try110.com

●営業部 : TEL.0569-29-4999 FAX.0569-29-1403(販売・価格)

●北陸支店 : 〒932-0136 富山県小矢部市平田3102番地
TEL.0766-69-1268 FAX.0766-69-7268

●仙台営業所 : 〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野五丁目3番地の35
TEL.022-254-1580 FAX.022-254-1581

鶴弥スーパートライ登録施工店

ホームページより、お近くの登録施工店を検索することができます。

■特約店